

診療科 小児血液・がん専門医取得コース

【到達目標】 ・休業前に習得した知識・技術を再確認し、更に発展させつつ、家庭と仕事の両立を実現する
・Subspecialty資格である小児血液・がん専門医の取得を目指す

【研修日数】 週4日×36か月

期間	定員	対象	評価	実技	診療	知識
1～3年	2	医師(小児科専門医取得済み)	業務内容の確認、発表内容の確認	骨髄穿刺・腰椎穿刺・カテーテル挿入など	外来・病棟業務	講義月1～2回

【1週間のスケジュール例】

	月	火	水	木	金
8:30～8:45	病棟全体の申し送り・カンファレンス				
午前	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後	病棟業務	病棟業務	小児科カンファレンス	外来・病棟業務	外来・病棟業務
17:30～19:00				* 血液・腫瘍カンファレンス、抄読会	

【備考欄】 病棟業務の中で適宜カンファレンスを実施し、治療方針を検討
病棟業務の中でのカンファレンスで適宜、疾患・治療に関する講義も行う
上記スケジュールから任意の曜日を1日休とし、週4日勤務(それよりも少ない勤務時間で開始し、徐々に増やしていくことも可能)
* 時間外カンファレンスは必須ではなく希望により参加

診療科 内分泌・代謝(小児科)専門医取得コース

【到達目標】 ・小児内分泌・代謝疾患の診察・検査・診断・治療・フォローアップの一連の診療が指導医による指導のもとで自身で行えるようになる
・Subspeciality である日本内分泌学会 内分泌代謝科(小児科)専門医の取得をめざす

【研修日数】 週4日×36か月

期間	定員	対象	評価	実技	診療	知識
1～3年	2	医師(小児科専門医取得済み)	業務内容の確認・カルテ記載	負荷試験・インスリンポンプ導入・持続血糖モニタリング装着	外来・病棟業務	カンファレンス 週1回

【1週間のスケジュール例】

		月	火	水	木	金
8:30～8:45		病棟全体の申し送り・カンファレンス				
午前		病棟業務	外来・病棟業務	病棟業務(リサーチカンファレンス)	病棟業務	病棟業務
午後		病棟業務	外来・病棟業務	小児科カンファレンス	病棟業務	外来・病棟業務
17:30～19:30			* 臨床カンファレンス			

【備考欄】 上記スケジュールから任意の曜日を1日休とし、週4日勤務(それよりも少ない勤務時間で開始し、徐々に増やしていくことも可能)
* 時間外カンファレンスは必須ではなく希望により参加

診療科 小児神経学会専門医取得コース

- 【到達目標】
- ・成長発達期に発症する神経機能障害の専門的診療に必要な知識、技能を習得し経験する
 - ・Subspecialty資格である小児神経学会専門医の取得を目指す

【研修日数】 週4日×36か月

期間	定員	対象	評価	実技	診療	知識
1～3年	若干名	医師	業務内容の確認	検査(電気生理検査、筋生検など)	外来・病棟業務	講義、勉強会

【1週間のスケジュール例】

	月	火	水	木	金
7:30～8:00				*勉強会	
8:30～8:45	*病棟全体の申し送り・カンファレンス				
午前	病棟業務	外来補助	病棟業務/筋生検	発達外来	病棟業務
午後	電気生理検査	神経外来	小児科全体カンファレンス	MRI検査と読影	脳波読影
19:00～21:00			*関連病院神経医師と神経カンファレンス		

- 【備考欄】
- 上記スケジュールから任意の曜日を1日休とし、週4日勤務
 *時間外カンファレンスは必須ではなく希望により参加
 浜松市発達医療センターなど、関連病院での外来研修可能

診療科 アレルギー専門医(小児科)取得コース

【到達目標】 ・小児アレルギー疾患の外来・入院治療、予防についてバランスよく研修し、負荷試験や皮膚テストなどの手技も独自に行えるようにする
 ・日本アレルギー学会専門医の取得を目指す

【研修日数】 週1－2日以上を1年以上(専門医の基本は3年間)

期間	定員	対象	評価	実技	診療	知識
1～3年	2人	小児科専門医取得見込みの医師	業務内容の確認・カルテ記載	食物、運動負荷試験 皮膚テスト	外来・病棟業務	カンファレンス週1回

【1週間のスケジュール例】

	月	火	水	木	金
8:30～8:45	病棟全体の申し送り・カンファレンス				
午前(9:00～)	アトピー性皮膚炎教室	食物負荷試験		食物負荷試験	(外来)
午後(～16:00)	12:30-13:30 アレルギーカンファレンス		運動負荷試験	15:00 皮膚テスト	(外来)

【備考欄】

火 or 木曜日のどちらかは必ず選択が必要。その他の日程は応相談。週1～5日まで相談にのれます。外来を受け持つかは応相談。

日本アレルギー学会専門医取得のためには研修3年間の基本ですが、1年以上＋外来見学＋集中研修などの選択肢もありますので相談下さい。
 本当の実力を求めるのであれば2年以上をお勧めします。小児アトピーでは女性医師の活躍が特に期待されますのでよろしくお願いします。
 就業時間は相談にのります(午前9:00スタート可)

診療科 周産期専門医(新生児)取得コース

- ・新生児の初期蘇生、重症新生児の全身管理を行えるようにする
- 【到達目標】・Subspeciality である周産期(新生児)専門医資格の取得を目指す
- ・成長発達期に発症する神経機能障害の専門的診療に必要な知識、技能を習得し経験する

【研修日数】週5日×3年間(※1)

期間	定員	対象	評価	実技	診療	知識
1～3年間	若干名	医師(小児科専門医)	業務内容の確認	気管挿管・ルート確保・超音波検査など 新生児の全身管理全般	病棟・外来業務 乳児健診	カンファレンス

【1週間のスケジュール例】

	月	火	水	木	金
8:30～9:00		周産期カンファレンス			
午前	帝王切開立ち合い	病棟業務	帝王切開立ち合い	正常新生児診察	病棟業務
午後	1ヶ月健診	病棟業務	小児科カンファレンス	(外勤 ※2)	病棟業務
15:00～16:00	外来	病棟業務	小児科回診		病棟業務

- 【備考欄】 ◆(※1) 浜医は基幹施設であり、3年間の研修後に専門医試験受験資格を取得できる。産休・育休も6か月までは研修期間に含むことができる。
- ◆(※2) 外勤は希望制。おもに産婦人科医院での新生児診察を行っている。

診療科	小児循環器学会専門医取得コース
-----	-----------------

- 【到達目標】
- ・先天性・後天性心疾患に関する優れた医学知識と医療技術を備えた医師を育成する
 - ・Subspecialty資格である**小児循環器専門医**の取得を目指す

【研修日数】 週3日以上を1年以上(専門医の基本は5年間)

期間	定員	対象	評価	実技	診療	知識
1～3年	若干名	小児科専門医取得見込みの医師	業務内容の確認・カルテ記載	心エコー検査 心臓カテーテル検査 中心静脈カテーテル留置	外来・病棟業務	カンファレンス週1回

【1週間のスケジュール例】

	月	火	水	木	金
7:30～8:15			* ネットカンファレンス (注1)(毎月第1週)	* 抄読会・勉強会 (毎月第2・第4週)	
8:30～8:45	病棟全体の申し送り・カンファレンス				
午前	病棟業務	病棟業務	病棟業務 心エコー・心電図など	小児循環器外来	心臓カテーテル検査
午後	病棟業務	病棟業務	小児科全体カンファレンス	小児循環器外来	小児循環器外来
19:30～21:00				* 三科合同カンファレンス (注2)(毎月第3週)	

- 【備考欄】
- * 時間外カンファレンスは必須ではなく希望により参加
 - (注1)ネットカンファレンス: ネット回線を用いた静岡県立こども病院との症例検討会
 - (注2)三科合同カンファレンス: 小児科・循環器内科・心臓血管外科との症例検討会